

すみだSDGs



子どもの体験奨学金 「ハロカル」

ハロカル



公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン

URL : <https://cfc.or.jp/>

業種 : 教育・学習支援業 所在地 : 〒130-0013 東京都墨田区錦糸1 11-1 ノイエヤマザキ5階

電話番号 : 03-5809-7394

Eメール : cfc@cfc.or.jp

審査員からのコメント

事業そのものがSDGsに貢献・寄与していることに加え、様々な団体・行政との連携や公表も十分にできている点を評価しました。

公益性が高い事業ではあるが、活動の原資を寄付だけに頼るのではなく、自社で資金を得るための取組が実現すれば、事業の持続可能性がさらに高くなると感じました。

該当するSDGsの目標



事業者・団体として2030年までのあるべき姿

家庭の経済状況や一人ひとりの特性に関わらず、子どもたちを多様な学びの機会によって包摂できる社会を目指す

活動の目的、背景

チャンス・フォー・チルドレンは、貧困の世代間連鎖を断ち切り、家庭の経済格差による教育格差をなくすために、学習塾や習い事等で利用できる「スタディクーポン」を提供してきました。

一方、子どもたちにとって幅広い学びを得ることができる体験の機会格差の問題については、いまだに社会で見過ごされています。2022年の実態調査では「低所得家庭の子どもの約3人に1人が1年間学校外の体験ゼロ」という厳しい現実が浮かび上がったため、その「体験格差」の解消に向けて事業を発足しました。

活動内容

「体験格差」の解消に向けて開始した「ハロカル」は、寄付金を原資に経済的に厳しい家庭の小学生にスポーツや音楽、芸術活動等の給付型奨学金を提供する事業です。参画事業者との協力や地域NPOとの連携を通じ、地域全体で子どもたちを支える体制を構築しています。2022年に墨田区で開始し、2024年度には全国5地域に拡大。年間での取組に加えて、夏に実施した「ハロカルホリデーすみだ」では、墨田区在住の小学生1,202名に5,000円の奨学金を提供し、新たな支援の形を実現しました。



今後の展望

2025年度に墨田区内の小学生3,000名に、その5年後には墨田区内のすべての小学生に体験活動の機会を提供することを目指しています。「ハロカル」、「ハロカルホリデーすみだ」を通じ地域事業者の協力を増やし、体験プログラムの提供を促進するとともに、地域の活性化につながることを目指します。さらに、全国の子どもたちに体験機会を提供するため、全国の地域のNPOと連携し体験格差の解消を図り、「ハロカル」の実施地域を広げていきます。